

OWNER'S MANUAL

USER GUIDE

1 はじめに

この度は TECH 21 製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の性能を最大限に引き出すためにご使用前にかならず内容をよくお読みください。
Fly Rig 5 はシングルペダル、ボードなしでエフェクトボード以上の機能を持ちます。長さ 30cm ほど、重量わずか 510g ほどの洗練されたコンパクトなユニットは、あらゆるエフェクトや機能を搭載しています。その中心にあるのは、オールアナログの SansAmp です。これにより、PA またはミキサーに直接入力が可能。コンプレッサー、パワフルブースト、タップテンポディレイ / コーラス、リバーブなど、不可欠なエフェクトを搭載。断線、電池、グラウンドループの心配はありません。新機能として、ルームサイズを選択可能な独立したリバーブ、切り替え可能なプリ / ポストブースト、エフェクトループ、チューナー、および XLR 出力を追加。世界各地でライブをしたり、地元でジャムをしたり、土壇場でセッション…全てこれ一台で完璧です。

3 接続

ギターアンプとの接続：

標準のエフェクトペダルと同じように、本機をインラインで接続できます。あなたのアンプのプリアンプが多くの特徴を与えていないときは、低レベル入力に接続し、できるだけフラットに設定してください。多くのアンプは明るめの傾向があるため、SansAmp セクションの High を 12 時より下から始めて、調節してください。また、ほとんどの真空管アンプではサチュレーション（飽和状態）になると、ミッドレンジがカットされる傾向があります。それで、HI と LO が最小で、MID が最大の状態で最もフラットなサウンドが達成されることがあります。その状態は決して以上ではなく、この状態から好みに合わせて調節することをお勧めします。また、エフェクトループリターンにプラグインすることもできます（アンプにそれがある場合）。これにより、アンプのプリアンプ全体が無効になり、サウンドをより正確に表現できます。

ダイレクトにレコーディングする：

必要なトーンシェイピングとキャビネットエミュレーションはすべて、ペダルの SansAmp セクションにすでに組み込まれています。本機は、ギターの信号を自動的にローインピーダンスに変換し、通常、ギターの信号を直接入力するさまざまな入力に接続できます。ミキサー（ライブおよびスタジオ）、ワークステーション / レコーダー、さらにはコンピューターのサウンドカードに直接接続することもできます。

3 入力と出力

1/4" フォン INPUT：

1/4" 1MΩ、インストゥルメントレベル。本機はギター本体、ディストーションペダルのアウトプットなど、インストゥルメントレベルのインプット信号を入力するように設計されています。想定の入力信号レベルはおおよそ -10dB / 250mV です。（一般的なエレキギターに近い数値）
注意：絶対にアンプのスピーカー・アウトから本機の入力に直接接続しないで下さい。アンプや本機が故障する恐れがあります。

1/4" フォン OUTPUT：

アンバランス 1kΩ ローインピーダンスインストゥルメントレベル。この出力は、ハイインピーダンスのギターアンプ（またはエフェクト）とローインピーダンスのミキサーおよびコンピューターの入力に接続できます。ペダルがバイパスモードのとき、出力レベルはユニティゲインです。また、バイパス中でも長いケーブルでも信号を損なうことはありません。

BALANCED XLR OUTPUT & GROUND CONNECT スイッチ ()：

バランスドローインピーダンスアウトプットです。GROUND CONNECT スイッチを ON にする () とグラウンドが接続されます。また、このスイッチを OFF にする () と本機のグラウンドはカットされた状態になり、接続されているミキサー等のグラウンドに接続されていない状態になります。

4 ご使用の前に

レベルコントロールの関係：

入力から出力への信号の流れは右から左です。したがって、「Plexi/Cali」から「PRE/POST BOOST」、「BLONDE SansAmp」、「EFX」の順に並んでいます。Delay Level コントロールはディレイのミックスレベルにのみ影響し、全体の出力レベルには影響しません。

ユニティゲインのレベル設定：

ペダルがアクティブかバイパスかに関わらず、出音が同じ音量になるようにレベルコントロールを設定します。次のアンプやエフェクターが、通常よりもはるかに大きなシグナルが入力されたり、小さすぎるシグナルが入力されたりしないよう調節してください。

EFX セクションのクリップインジケーター：

EFX セクションのレベルコントロールにはクリップクリップインジケーターが組み込まれています。回路が過負荷になると、REVERB のレベルコントロールが赤く点滅して警告します。強めのピッキング時の瞬間的な点滅（ピーク）は問題ありませんが、継続的に点灯する場合は、対応するコントロール（Plexi/Cali セクション LEVEL、SansAmp セクション LEVEL）を調節してください。

PHASE FLIP：

ギター入力信号の位相を反転させます。OFF（) のとき、出力は入力と同位相です。ON（) のときは、出力の位相が反転します。楽器がハウリングする場合は、位相を逆にするようにスイッチを入れてみてください。ON にしても、ハウリングする場合、原因の診断に進む前にこの機能を OFF にしてください。

5 Plexi/Cali セクション

歪みサウンドを提供します。力強いクランチと激しい歪みのプレキシトーンを選択できます。明瞭なミッドレンジと太くパンチの有るローエンドを持つサウンド Cali スイッチ OFF（)、または 70 年代のハイゲインアンプトーンの Cali スイッチ ON（) から選択できます。それぞれのモードはドライブ、トーンおよびレベルコントロールであなたの好みに合わせて調節することができます。

DRIVE：

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。ペダルの設定を変更しなくても、ギターの音量を下げて（極端な設定を除く）、歪みの量を調整できます。逆に、ギターの音量を上げるだけで歪み量を増やすことができます。

TONE：

高音域を調節します。最大でフラットです。反時計回りに回すと高音域を減少させます。

LEVEL:

Plexi / Cali セクションがオンになっているとき、セクションの出力レベルを調節します。さまざまな機器との最大限の互換性を保つために非常に広い範囲を備えています。

6 BLONDE SANSAMP セクション

チューブアンプエミュレーション：

Blonde SansAmp セクションは世界中で高い評価をうける 3 バンドアクティブ EQ、レベルとドライブコントロールを持つ Blonde Character Series ペダルのトーンを組み込みました。歪みを追加するには、Drive コントロール、Boost 機能を使用するか、または Plexi / Cali セクションから歪みを追加する 3 つの方法があります。各方法は異なるトーンを実現します。

DRIVE：

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。回転の前半では、音量とオーバードライブが増加し、その後はオーバードライブ量が増加します。

LOW, MID, HIGH:

スタジオミキシングボードのように、完全な EQ コントロールが可能です。カットするだけのパッシブトーンコントロールとは異なり、これらのアクティブコントロールは 12 時をフラットとしてカット、ブーストします。

LOW は 80 Hz で ± 12 dB

MID は 500 Hz で ± 12 dB

HIGH は ± 12 dB @ 3.3kHz

LEVEL:

SansAmp セクションがオンになっているとき、セクションの出力レベルを調節します。さまざまな機器との最大限の互換性を保つために非常に広い範囲を備えています。

本機を直接 PA に接続するときは、最良の S / N 比を得るために SansAmp レベルをかなり高く設定し、その他すべてのコントロールを 12 時の位置に設定してください。

7 スピーカーシミュレーション

複数のマイクでキャビネットをマイキングしたように滑らかで均一なサウンドを演出します。この機能がキャビネットの周波数特性に悪影響を及ぼすことはありません。スピーカーシミュレーションは EQ コントロールと連動して全体的なサウンドをカスタマイズします。

必要に応じて、スピーカースイッチ（) を解除してスピーカーシミュレーションを無効にすることができます。

注：スピーカーシミュレーションの無効化は 1/4 インチ出力にのみ影響します。XLR 出力信号は無効に出来ません。

8 PRE/POST BOOST セクション

切り替え可能なプリ / ポストブーストは、ドライブとディストーションを強化したり、ソロでの全体的な音量の底上げに便利です。
PRE() = 最大 20dB のプリブースト
POST() = ポストブースト最大 12dB

7 EFX セクション

DELAY :

ビンテージテープエコーを再現したディレイです。

TIME:

ディレイタイムを設定します。連続可変コントロールで、28 ミリ秒から最大 1000 ミリ秒まで想いのままに設定可能です。12 時位置での Time は約 300 ミリ秒です。演奏中にこのノブを回すと、ビンテージアナログディレイのように、ギターのピッチが変化します。

REPEATS:

ディレイの反復回数を調節します。7 時の位置で 1 回、設定を大きくすると、それに応じて繰り返しは無限になるまで続きます。最大に設定すると発振します。

REPEATS 設定のヒント :

アンプのフロントインプットで使用する、アンプは信号を圧縮し、繰り返しはより顕著になります。そのため、エフェクトループで実行するときよりも設定を低くする必要があります。たとえば、エフェクトループでの「REPEATS」10 時の設定では、3 回繰り返します。ただし、アンプのフロントインプットにつないだ場合、8 時の設定で同じ結果が得られます。

DRIFT スイッチ :

ON () にするとディレイ信号の変調にランダムで予測不可能な要素を追加します。これはビンテージのテープエコーの特徴を再現します。

8TH スイッチ :

ON () にすると現在のディレイ音の 4 分音符を付点 8 分音符に変換します。

LEVEL:

EFX セクションの出力レベルを調整します。クリップインジケータとしても機能します (4. ご使用の前にをご参照ください)。

TAP TEMPO:

TAP スイッチを演奏中にタップするだけでディレイテンポを設定できます。Tap Tempo は TIME 設定を無効にします (逆に TIME ノブを回すと TAPTEMPO は無効になります)。この機能はバイパスでも機能しますので、事前に設定できます。タップテンポを変化させても、ギターのピッチは変わりません。

REVERB:

真空管アンプ内蔵のビンテージスプリングリバーブの豊かな雰囲気のエミュレートします。単一連続可変コントロールは、希望のリバーブの量を想いのままに調節できます。ROOM スイッチで部屋の大きさを選択可能です。

ON (): 広い部屋

OFF (): 狭い部屋

また、REVERB コントロールノブはクリップインジケータを兼ねております。

8 その他の機能

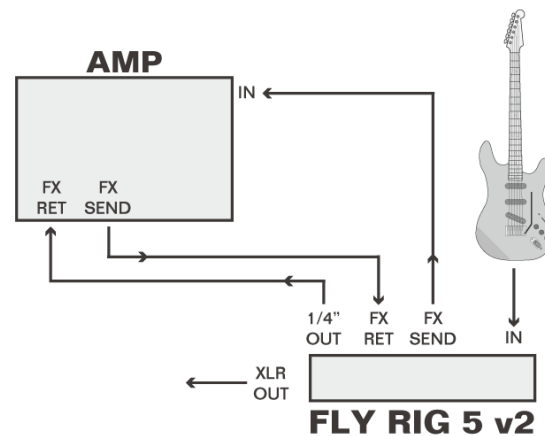
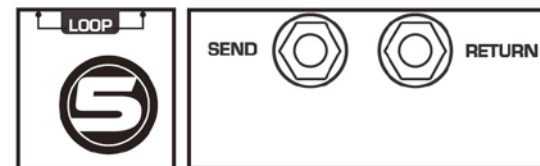
クロマチックチューナー :



BLONDE/TUNER スイッチを 2 秒以上踏み続けることでクロマチックチューナーが起動し、入力信号をミュート、チューナーウィンドウの LED が点灯します。緑色のランプが点灯している場合は、チューニングが合っています。赤い矢印が出た場合は上向き矢印 = フラットしています。ピッチを上げてください。下向き矢印 = シャープしています。ピッチを下げてください。目的の音に近づくと、矢印は速く点滅し、チューニングが合うと消えます。その後緑色のランプが点灯しチューニング完了です。フットスイッチを短く一度踏むとチューナーは OFF になります。

エフェクトループ :

お手持ちの外部エフェクターを SANSAMP セクションの後ろに接続可能です。SEND からお手持ちのエフェクター INPUT にお手持ちのエフェクターの OUTPUT から RETURN に接続します。



9 使用上の注意

- ◆ 本機とパワーアンプを接続する際に、トランスのグラウンドが異なるものを使用することになるため、スイッチングタイプの電源アダプターのハムノイズを拾う場合があります。故障ではありませんが、パワーアンプ側の XLR 入力端子のグラウンドを落とす必要があります。詳細は、お使いのパワーアンプの取扱説明書などをご参照ください。
- ◆ ステレオ 3.5mm をモノラル 1/4" フォンへ変換するプラグを使用すればアンプを経由せずにヘッドフォンで直接OUTPUTに入力が可能。
製品本来のサウンドをご試聴になれます。(音量には十分にご注意ください。)
- ◆ 本機のコントロールは緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。
最大の結果を得るためには、すべてを最大に設定する必要はありません。例えばサウンドを明るくしたい時は、HI を上げるのではなく、LOWを下げてみてください。
- ◆ 本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールは異常に敏感であり、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力を必要としません。本機に入るノイズを最小限に抑えるために、エフェクターは、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。シングルコイルピックアップはノイズを生成する可能性が高くなります。しっかりとノイズ対策を行ってください。
- ◆ 演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、本体を本機に直接接続してください。
その他エフェクトを使用する際は一般的な使用法として、
本機の前：ブースター、コンプレッション、ファズ、フェイザー/バイブ、オーバードライブ、ワウ等
本機の後：ディレイ、EQ、フランジャー、フェイザー（後もおすすめです）、ピッチシフター、リバーブ等
をおすすめしますが、お好みに合わせて配置してください。
- ◆ バッファードバイパスは、「トゥルーバイパス」のポップとクリック、および複数のペダルを接続したときの高音痩せなどの欠点や、スイッチング回路や長いケーブルによる信号のロスを軽減します。